

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 20 年 1 月 17 日 (2008.1.17)

【公開番号】特開 2005-155631 (P2005-155631A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023
 【出願番号】特願 2004-340295 (P2004-340295)
 【国際特許分類】

F 0 1 D 25/00 (2006.01)

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

F 0 2 C 9/00 (2006.01)

G 0 1 N 21/63 (2006.01)

【F I】

F 0 1 D 25/00 X

F 0 2 C 7/00 A

F 0 2 C 9/00 A

G 0 1 N 21/63 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 11 月 21 日 (2007.11.21)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 4
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 4】

従来、ガスタービン部品の被膜寿命を求めることは、部品に対する保護金属被膜中のベータアルミナイドの残留量を測定することを伴う。しかしながら、この方法は、エッチングして顕微鏡で光学的に観察してベータアルミナイド領域の幅を測定することができるようにするため、構成部品の局部的切断及び関心領域の冶金的取り付けを必要とする。被膜中に残留するベータアルミナイドの量は、アルミナ保護被膜の生成のために残留するアルミニウムの量を示しており、このようにして被膜寿命を求めるために使用される。

【特許文献 1】米国特許第 4543486 号明細書
 【特許文献 2】米国特許第 4634291 号明細書
 【特許文献 3】米国特許第 4677034 号明細書
 【特許文献 4】米国特許第 4818118 号明細書
 【特許文献 5】米国特許第 5216808 号明細書
 【特許文献 6】米国特許第 5742028 号明細書
 【特許文献 7】米国特許第 5847825 号明細書
 【特許文献 8】米国特許第 5885484 号明細書
 【特許文献 9】米国特許第 5932120 号明細書
 【特許文献 10】米国特許第 6005219 号明細書
 【特許文献 11】米国特許第 6008896 号明細書
 【特許文献 12】米国特許第 6075593 号明細書
 【特許文献 13】米国特許第 6149389 号明細書
 【特許文献 14】米国特許第 6159619 号明細書
 【特許文献 15】米国特許第 6197424 号明細書
 【特許文献 16】米国特許第 6283714 号明細書
 【特許文献 17】米国特許第 6380512 号明細書

- 【特許文献 1 8】米国特許第 6452685 号明細書
- 【特許文献 1 9】米国特許第 6488986 号明細書
- 【特許文献 2 0】米国特許第 6532068 号明細書
- 【特許文献 2 1】米国特許第 6629464 号明細書
- 【特許文献 2 2】米国特許出願公開第 2003/0085203 号明細書